

1 科目名(教科)	地理総合	6	教科書名
2 講座名	地理・歴史		東京書籍 地総701 地理総合 新詳高等地図(帝国書院)
3 開講学年	1	7	使用教材
4 履修区分	必修		なし
5 単位数	2		

1 科目の目標・学習内容

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図などを用いて、調査や諸資料から地理に関する諸情報を調べまとめる技能を身につける。 ・位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想する力や、考察・構想したことを効果的に説明する力を身につける。 ・社会にみられる課題に対し、多面的・多角的な考察や理解を通して、日本国民としての自覚や国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する力を身につける。
学習内容	□私たちが暮らす世界 □地図や地理情報システムの役割 □資料から読み取る現代世界 □人々の生活文化と多様な地理的環境 □さまざまな地球的課題と国際協力 □自然環境と防災 □生活圏の調査と地域の展望

2 評価の観点・方法

評価の観点	観念の趣旨	具体的な評価方法
【知】 知識・技能	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につける。	地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
【思】 思考・判断・表現	地理に関わる諸事象から課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地理的事象の意味や意義の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目し考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想できる。
【感】 主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸現象について、よりよい社会の実現を目指し、そこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	第1編 第1章 第2章 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが暮らす世界 ・地図や地理情報システムの役割 〈活動内容〉 ☆個人思考 	5	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 適切な根拠および判断にもとづき、自分の考えを論理的に導くことができる。 【感】 デジタルツールの扱いに順応し、計画的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 【思】 【感】 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【感】 課題(Web GIS等)への取組
5	第1編 第3章 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取る現代世界 〈活動内容〉 ☆個人思考 地理院地図、Google Earthに親しむ 	6	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 適切な根拠および判断にもとづき、自分の考えを論理的に導くことができる。 【感】 デジタルツールの扱いに順応し、計画的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 【思】 【感】 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【感】 課題(Web GIS等)への取組
6	第2編 第1章 【単元テスト】 国際理解と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化と自然環境 ②気候 ・生活文化と産業 〈活動内容〉 ☆個人思考 →グループ思考(初期) 	8	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 適切な根拠および判断にもとづき、自分の考えを論理的に導くことができる。 【感】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 【思】 【感】 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【感】 課題(気候区分に関する作業等)への取組
7	第2編 第1章 国際理解と国際協力	↓	6	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 適切な根拠および判断にもとづき、自分の考えを論理的に導くことができる。 【感】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 【思】 【感】 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【感】 課題(気候区分に関する作業等)への取組
8	第2編 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題 ※SDGsに関する内容 〈活動内容〉 ☆個人思考 →グループ思考(中期) →ディスカッション 	2	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 適切な根拠および判断にもとづき、自分の考えを論理的に導くことができる。 【感】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 【思】 【感】 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【感】 課題(新聞記事の分析等)への取組
9	【前期定期考査】	↓	7	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 議論に関連する概念や理論を適切に理解し、的確な意見を述べることができる。 【思】 意見の相違に対し適切な判断にもとづいて対処し、議論を適切な方向に導くことができる。 【感】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 【思】 【感】 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【感】 課題(新聞記事の分析等)への取組
10	第2編 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ※人口ピラミッド等の分析に関する内容 〈活動内容〉 ☆個人思考 →グループ思考(中期) →ジャンボ 	7	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 図表等の情報を適切かつ効果的に使用し、発表内容をわかりやすく示すことができる。 【思】 主張や論点を明確に提示し、適切な根拠および判断にもとづいて発表できる。 【感】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 【思】 【感】 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【感】 課題(統計資料の分析等)への取組

11	第3編 第2章 さまざまな地球的問題と国際協力 【単元テスト】	・食料問題 ・民族問題 ※食品ロスや地域紛争に関する内容 〈活動内容〉 ☆個人思考 →グループ思考(中期) →ジグソー法	7	【知】 図表等の情報を適切かつ効果的に使用し、発表内容をわかりやすく示すことができる。 【思】 主張や論点を明確に提示し、適切な根拠および判断にもとづいて発表できる。 【態】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。	【知】 【思】 【態】	【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【態】 課題(思考ツール等)への取組
12	第3編 第2章 さまざまな地球的問題と国際協力	・持続可能な社会の実現をめざして 〈活動内容〉 ☆個人思考 →グループ思考(発展) →ジャンボード &ジグソー法	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 適切な根拠および判断にもとづき、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。	【知】 【思】 【態】	【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【態】 課題(思考ツール等)への取組
1	第3編 第1章 持続可能な地域づくりと私たち	・自然環境と防災 〈活動内容〉 ☆個人思考 →グループ思考(発展) →ディスカッション	5	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 適切な根拠および判断にもとづき、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。	【知】 【思】 【態】	【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【態】 課題(ハザードマップの分析等)への取組
2	第3編 第1章 持続可能な地域づくりと私たち 【後期定期考査】	↓	7	【知】 議論に関連する概念や理論を適切に理解し、的確な意見を述べることができる。 【思】 意見の相違に対し適切な判断にもとづいて対処し、議論を適切な方向に導くことができる。 【態】 計画や見通しをもち、適宜調整しながら取り組むことができる。	【知】 【思】 【態】	【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【態】 課題(ハザードマップの分析等)への取組
3	第3編 第2章 持続可能な地域づくりと私たち	・生活圏の調査と地域の展望 〈活動内容〉 ☆個人思考 →プレゼンテーション	4	【知】 図表等の情報を適切かつ効果的に使用し、発表内容をわかりやすく示すことができる。 【思】 聴衆を見ながら自信をもって伝えることで、発表内容に説得力をもたせることができる。 【態】 適切な発表に向けて、粘り強く取り組むことができる。	【知】 【思】 【態】	【知】 Google formsによる語句(用語/事象等)の確認テスト 【思】 Google classroom(forms含)によるレポート 【態】 課題(地域調査・分析等)への取組

4 単元テスト

前後期期末考査の他に、年2回(6月・11月)の単元テストを実施します(実施月、回数については今後変更の可能性あり)。
単元テストは「ZIP grade(自動採点アプリ)によるマークシート形式」と「Google forms(生徒一人ひとりが所持するchrome bookと連動)による論述入力形式」を組合わせた方法で実施します。
「マークシート形式」は【知識・技能】、「Google forms形式」は【思考・判断】の評価に加ええます。実施日や範囲等の詳細は授業内で指示します。

5 その他

- 「3 学習計画 学習内容」の枠内太字について、特に意識して授業に臨んでください。
- 各章・節等の学びの区切りをある程度集約して、「単元毎の振り返り(Google formsを使用)」を実施します。